

採用チャネル	ターゲット層	メリット	デメリット	コスト感
求人サイト	広く求職活動中の人々	多くの潜在層にリーチ可能、特定の専門職に絞った訴求も可能	競争が激しい、掲載コストが高い	高～中
SNS	若年層、特定コミュニティ	費用を抑えやすい、事業所の雰囲気直接伝えやすい	効果が出るまで時間がかかる、運用にノウハウが必要	低～中
リファラル採用	既存職員の知人・友人	入社後のミスマッチが少ない、定着率が高い傾向	採用人数に限界がある、インセンティブコストが発生	低
地域イベント	地域住民、求職中・潜在層	地域の信頼を獲得、直接的な交流で雰囲気を伝えやすい	準備に手間と時間がかかる、即効性はない	低